

2024年3月期 決算説明資料

2024年5月10日

田中建設工業株式会社

(東証スタンダード:1450)

1	会社概要	・・・2
2	2024年3月期 実績	・・・5
3	2025年3月期 計画	・・・15

1

会社概要

会社概要／企業理念／経営理念／特徴／ビジネスモデル

田中建設工業株式会社

会社概要

人にやさしい環境づくり

会社名	田中建設工業株式会社 (TANAKEN)
設立	1982年2月3日
所在地	東京都港区東新橋一丁目9番1号
代表者	代表取締役社長 中尾 安志
資本金	297,156千円
従業員数	105名 (2024年3月末)
主要株主	スリーハンドレッドホールディングス株式会社 63.00% (創業者 田中俊昭の資産管理会社)
事業内容	建築構造物解体工事の施工及び施工管理

企業理念

「子供たちに何が残せるか」を常に考え、明日のために今日できることを実行し、社業を通じて「人にやさしい環境づくり」に貢献します。

経営理念

思いやり

TANAKENは、「環境への思いやり」「お客様への思いやり」「地域への思いやり」「社員及び家族への思いやり」を大切にします。

信頼

TANAKENは、「技術への信頼」「会社への信頼」「社員への信頼」を基に、お客様からの揺るぎない信頼と評価を得ることを目指します。

感謝

TANAKENは、「お客様への感謝」「家族・仲間への感謝」「仕事への感謝」を胸に刻み、社会の発展に貢献します。

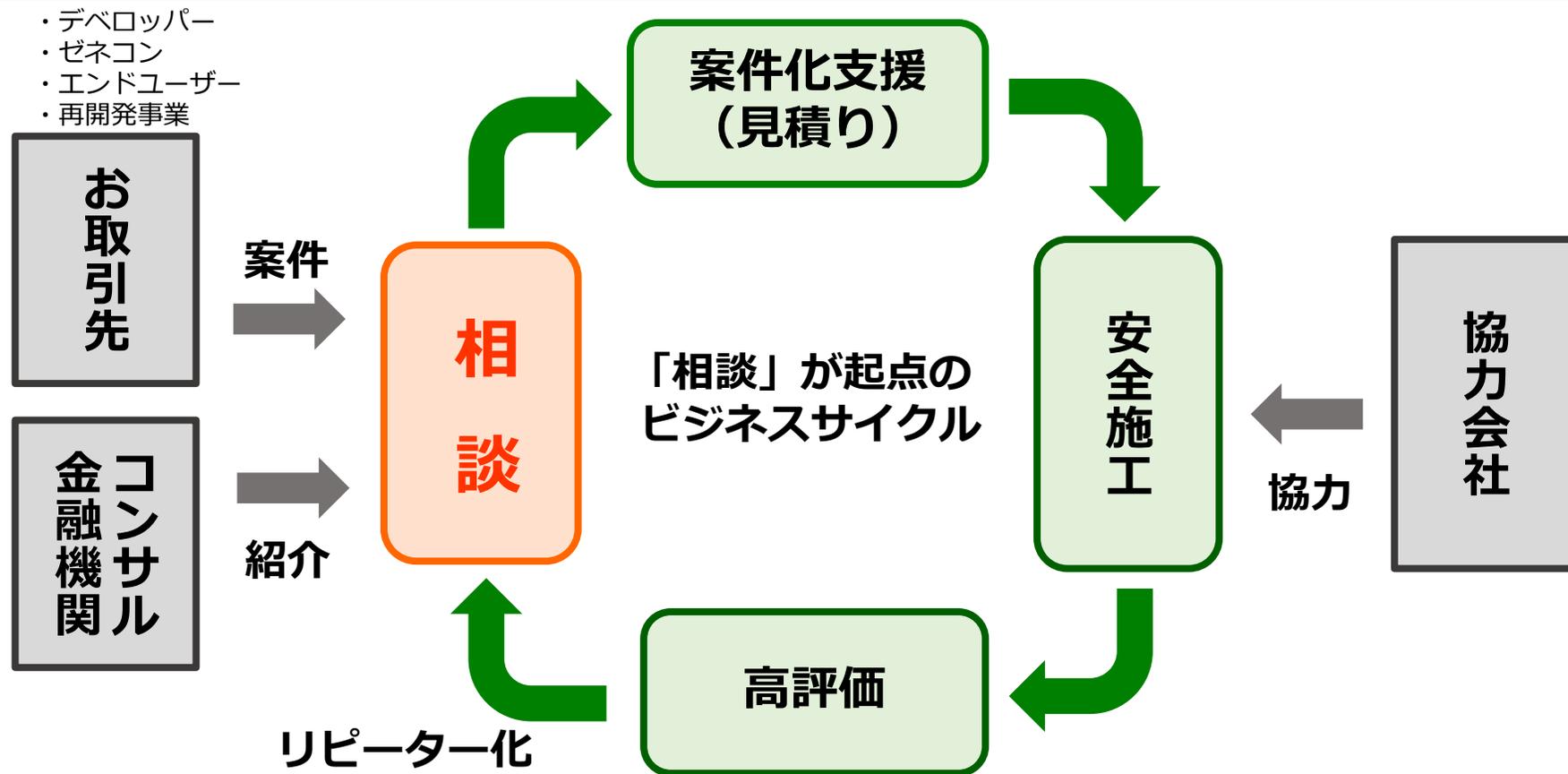
特徴

- 1 建築構造物の解体に関する工事をワンストップで受注・施工が可能
- 2 解体工事は協力会社が行い、当社は**施工管理、安全管理、近隣対応に集中**
- 3 施工管理に徹した「**持たざる経営**」(※)により**高い経営効率を実現**
(※当社は重機を一切保有していません)

ビジネスモデル

- 長年にわたり安心・安全な施工管理を積み重ね、**収益性と安全性を兼ね備えたビジネスモデルを構築**
- 相談を起点とした効率的な営業サイクル
 - 安心・安全な施工管理と丁寧な近隣対応が高い評価
 - 大型工事の元請受注を可能とする良好な財務内容

- 安心・安全施工をベースに、「相談」を起点とした効率的な営業サイクルを構築
- 信用力・提案力・技術力・良好な財務内容が評価され、元請率は高水準を確保



2

2024年3月期 実績

損益実績／財務状況／受注状況／営業戦略及び結果／主要施策及び結果／
ビジネスモデルの強化／主要指標

田中建設工業株式会社

2024/3期 損益累計

人にやさしい環境づくり

- 堅調な受注環境により受注残高は潤沢なものの、人手不足、資材価格上昇、それに伴う新築プロジェクトの計画変更、工期見直し等の影響により、計画比▲11%の減収
- 建設業界の人財需給の逼迫等により採用は低調に推移し、人件費は計画比減少、また本社移転、工事大型化により生産性が向上し、計画比で大幅増益となった

金額単位：百万円

	23/3期 実績	24/3期 計画	24/3期 実績	前期比	計画比
売上高	11,246	12,000	10,676	▲570	▲1,324
売上総利益 (率)	2,332 20.7%	— —	2,502 23.4%	+170 +2.7p	— —
販売費及び一般管理費	771	—	894	+123	—
営業利益 (率)	1,560 13.9%	1,385 11.5%	1,608 15.1%	+48 +1.2p	+223 +3.6p
経常利益 (率)	1,600 14.2%	1,400 11.7%	1,640 15.4%	+40 +1.2p	+240 +3.7p
当期純利益	1,086	945	1,090	+4	+145

2024/3期 財務状況

人にやさしい環境づくり

- 元請工事増加に伴う立替負担により、完成工事未収入金が増加したが回収懸念はない
- 有利子負債なくキャッシュポジションも高水準、自己資本比率約77%と良好な財務内容を維持し、資金調達にも余力あり（既存借入枠27億円）

金額単位：百万円

	23/3期	24/3期	増減	備考
流動資産	6,689	7,735	+1,046	電子記録債権570
うち現預金	2,282	2,401	+119	
うち完成工事未収入金	3,779	4,451	+672	
固定資産	1,328	1,384	+56	旧本社は賃貸用に改装中
流動負債	1,722	2,032	+310	工事未払金1,451
うち有利子負債	—	—	—	借入枠の利用なし
固定負債	78	97	+19	
純資産	6,217	6,990	+773	
総資産	8,017	9,119	+1,102	
自己資本比率	77.5%	76.7%	▲0.8p	
ネットキャッシュ	2,282	2,401	+119	

2024/3期 受注状況

人にやさしい環境づくり

- 堅調な受注環境を背景に、受注高123億円、繰越受注高70億円と順調に推移
- 安全施工をベースとした信用力・技術力・良好な財務内容により受注工事は大型傾向
- 既存取引先に加えて、再開発、新規開拓に注力し、受注の更なる積み上げを図る

金額単位：百万円

	2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 実績	前期比
前期繰越受注高	4,427	4,545	5,381	+836
当期受注高	9,942	12,082	12,364	+282
当期完工高	9,824	11,246	10,676	▲570
当期繰越受注高	4,545	5,381	7,069	+1,688

<基本方針>

環境・安全施工が重視される都市部の案件に注力し、以下の施策により受注拡大を図る。

<主要施策>

<結果>

1	都市再生案件の 取り込み	再開発、商業施設、物流センター等の大規模な都市再生案件を中心に、元請工事案件の受注に注力し、受注拡大を図る	マンション建替え案件も順調、再開発への提案にも注力
2	顧客基盤の充実	デベロッパー、ゼネコン等の既存顧客基盤に加えて、新規開拓に注力し、顧客基盤の更なる拡充を図る	再開発等の実績が評価され、顧客基盤拡充は順調に推移
3	地下関連工事の 受注拡大	地下解体関連工事（杭抜き、CD工法、BG工法、地中障害対応、流動化土打設、湧水対策等）の受注に注力し、受注拡大を図る	プロジェクト全体から検討した顧客目線の適切な提案により、順調に推移
4	環境改善関連工 事の受注	石綿事前調査の有資格者の増員や協力会社との連携により、石綿除去、土壌改良等、環境改善分野の需要取り込みを図る	法改正等にもスピーディに対応し、需要取り込みは順調

2024/3期 主要施策及び結果

人にやさしい環境づくり

＜主要施策＞		＜結果＞	
1	人財採用強化	<ul style="list-style-type: none">・ 本社移転、完全週休二日制の全社導入等による執務環境改善・ 人事セクション増員による採用強化、入社後研修の充実・ 施工管理者のみならず、全職種で即戦力、次世代社員を採用	<ul style="list-style-type: none">・ 本社移転により執務環境改善、生産性向上・ 人財採用は計画未達
2	人財マネジメント体制強化	<ul style="list-style-type: none">・ 人事制度、評価制度の再構築、研修制度の拡充・ 働き方改革の推進、時間外労働削減への取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 早帰り、効率化等による時間外削減実施中・ 人事制度等見直し中
3	技術開発の強化	<ul style="list-style-type: none">・ 天蓋工法等、既存工法の更なる安全施工技術の開発・ 専門業者、専門家との協働による新工法の開発・ 現場ITサポートシステムのレベルアップ・ BIM三次元モデルの更なる活用	<ul style="list-style-type: none">・ 専門家(大学研究室等)、専門業者との共同開発、共同研究を実施中
4	アライアンス強化	<ul style="list-style-type: none">・ 協力会社とのパートナーシップ拡充・ TANAKEN安全協力会による安全衛生指導・教育支援の強化・ 施工管理を中心とした垂直・水平のアライアンス探索	<ul style="list-style-type: none">・ 協力会社とのパートナーシップ拡充を継続・ 安全協力会の活動充実
5	DX強化	<ul style="list-style-type: none">・ 本社移転を機に社内ネットワーク環境を再構築・ DX化により業務効率化、ペーパーレス化、セキュリティ強化	<ul style="list-style-type: none">・ ネットワーク環境を再構築、業務効率化・セキュリティ強化を実施中

ビジネスモデルの強化（フロービジネスのストックビジネス化）

人にやさしい環境づくり

- 安心・安全施工をベースに、「相談」を起点とした効率的な営業サイクルを構築
- 一方、**絶えず受注を取り続ける必要があるフロービジネスであり、ストック化が課題**

- 中長期的な視点に立った**相談ベースの提案営業（2～3年先）**に注力
- 営業案件ストックの持続的な維持拡大により、安定的な受注獲得に繋げる
- 営業案件ストック残高は、400億円超を維持していく

営業案件ストック残高

金額単位：百万円

	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	前期比
件数	136	198	185	182	206	+24
金額	28,554	42,814	41,661	46,263	56,329	+10,066

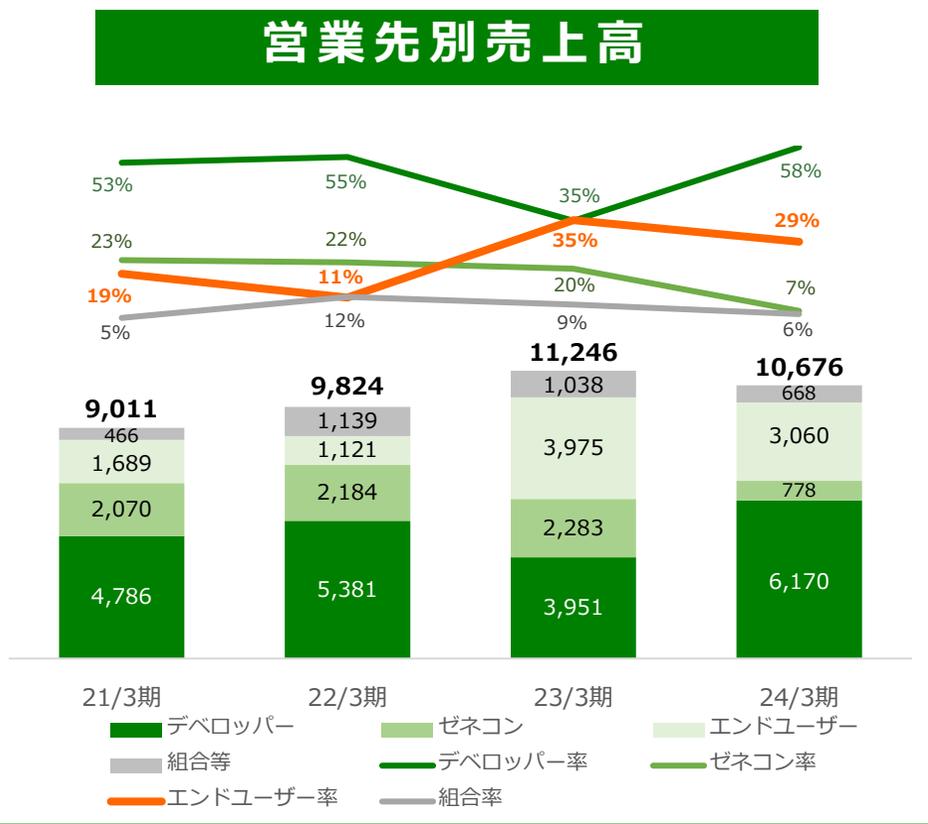
主要指標 1（営業先別、請負先別の売上高）

人にやさしい環境づくり

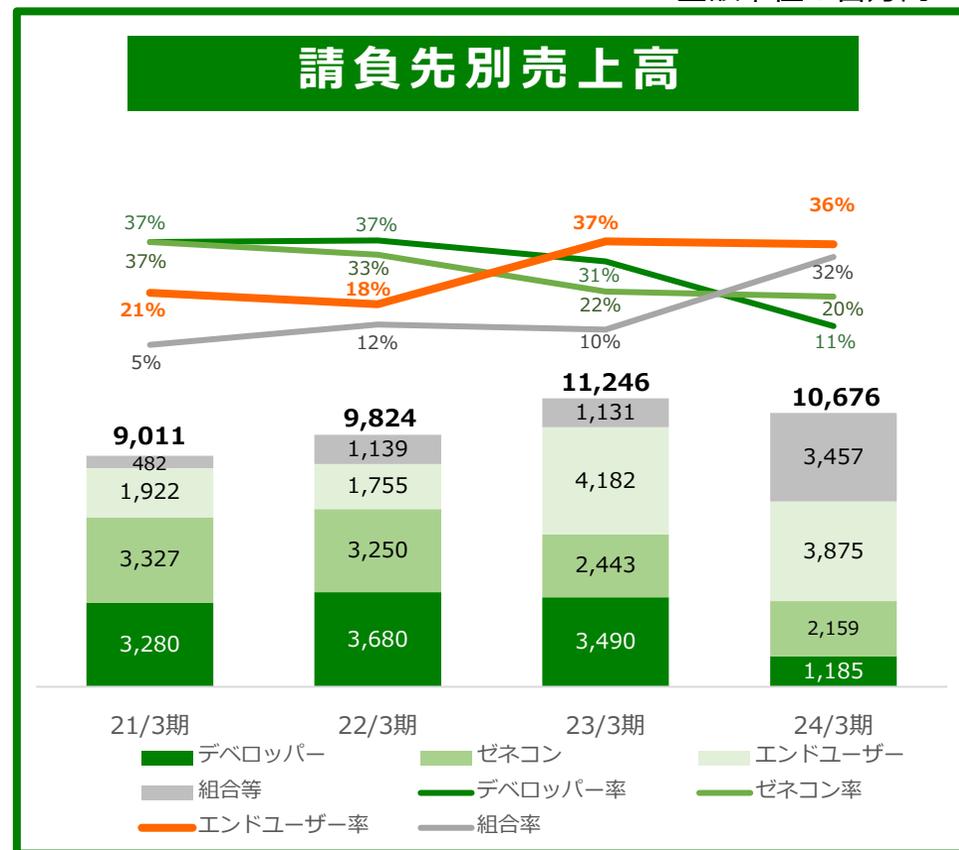
- 人財需給の逼迫、資材価格上昇、それに伴う新築プロジェクトの計画変更、工期見直し等の影響もあり、デベロッパー、ゼネコンからの受注工事は減少傾向
- 一方、デベロッパー向け営業が再開発組合からの受注工事につながる等、順調推移

金額単位：百万円

営業先別売上高



請負先別売上高



主要指標 2（元請率、リピート顧客率）

人にやさしい環境づくり

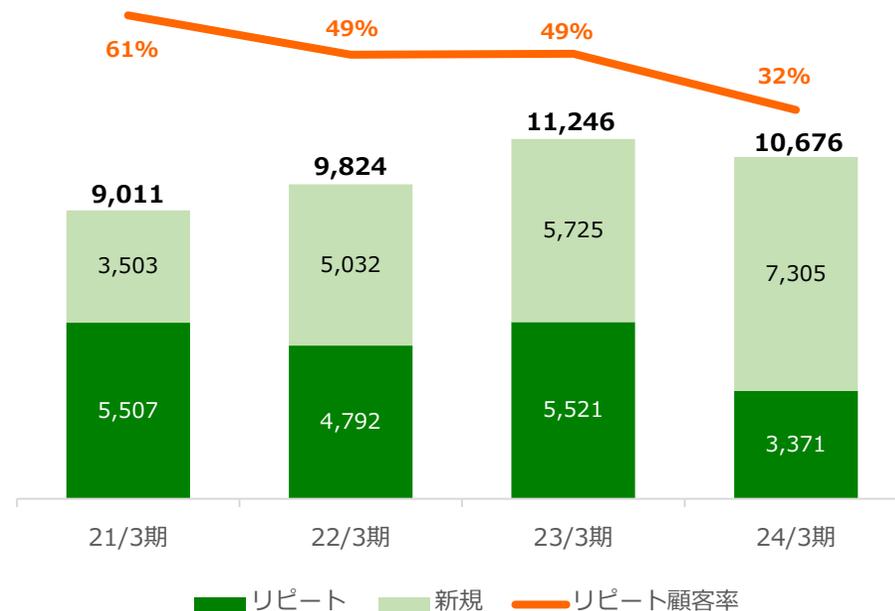
- 新規開拓によるエンドユーザー及び再開発の増加により、元請率は好調に推移
- リピート顧客率の低下は、新規顧客からの受注増加によるものであり、問題ない

金額単位：百万円

元請率



リピート顧客率



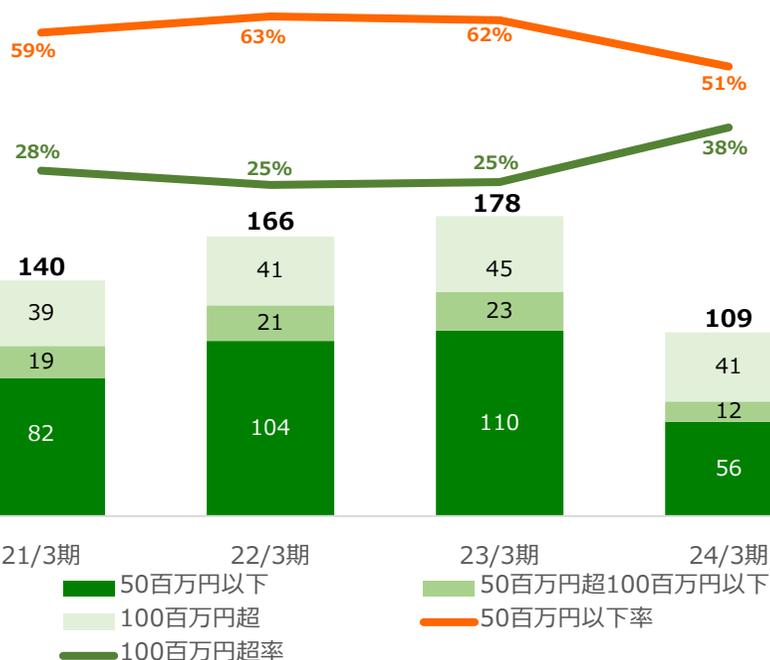
主要指標 3（規模別、工期別の工事件数）

人にやさしい環境づくり

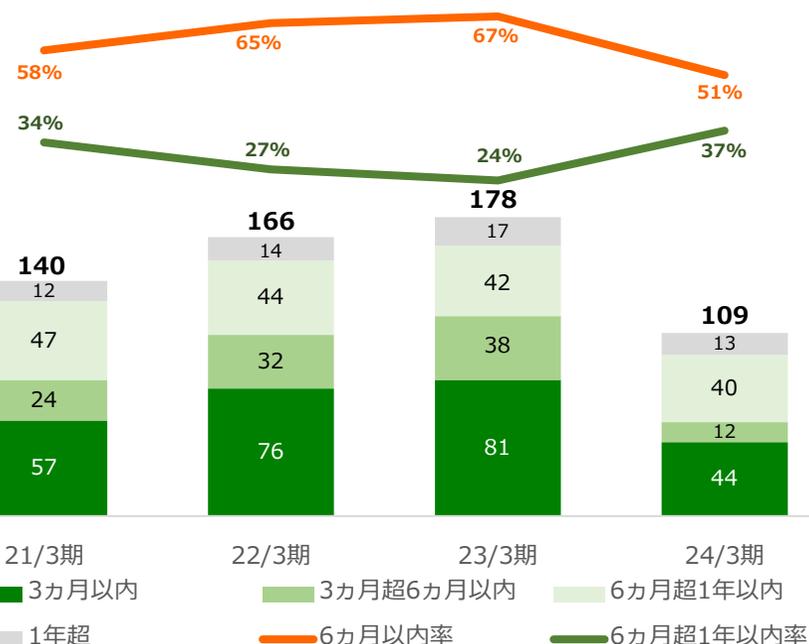
- 安全施工をベースとした信用力・技術力・良好な財務内容により受注工事は大型傾向
- 大型工事の施工管理は、施工管理者の育成、スキルアップに寄与

単位：件

規模別工事件数



工期別工事件数



3

2025年3月期 計画

中期経営計画の概要 / 中期経営計画の進捗状況 / 計画概要 / 営業戦略 / 主要施策 / 配当政策

田中建設工業株式会社

中期経営計画の概要

人にやさしい環境づくり

- 中期経営計画「TANAKEN “Vision NEXT 10” **Primary Phase** (FY2023～2025)」は、10年後を展望した長期ビジョンの実現に向けた「**基盤構築のための3カ年計画**」
- 持たざる経営の競争力の源泉である人財、技術、アライアンスを強化していく方針

TANAKEN “Vision NEXT 10” における10年後のあるべき姿

- 1 将来にわたりお客様から信頼される会社になる
- 2 環境に配慮した安全施工を実現する
- 3 業界のリーディングカンパニーの地位を確実なものにする

TANAKEN “Vision NEXT 10” Primary Phase の基本方針

「持たざる経営」の競争力の源泉である人財、技術、アライアンスを強化する

- 1 TANAKENブランドの価値向上
- 2 人財の量的・質的な充実
- 3 安全施工のための技術開発強化
- 4 アライアンス戦略・DX戦略の拡充
- 5 企業価値向上に寄与するSDGs・ESG経営



中期経営計画の進捗状況

人にやさしい環境づくり

- 中期経営計画「TANAKEN “Vision NEXT 10” Primary Phase」初年度の2024/3期は計画比減収増益で着地、受注状況は堅調であり、2025/3期損益計画に変更なし
- 人事セクションを増員するも、業界の人財需給逼迫の影響等により計画未達
- 2025/3期は、人員計画を修正のうえ採用ブランディングを進め、人員増強を目指す

金額単位：百万円

	23/3期 実績	24/3期 計画	24/3期 実績	計画比	25/3期 計画	25/3期 修正計画	26/3期 計画
売上高	11,246	12,000	10,676	▲1,324	13,000	修正なし	14,000
営業利益	1,560	1,385	1,608	+223	1,600		1,700
経常利益	1,600	1,400	1,640	+240	1,650		1,750
当期利益	1,086	945	1,090	+145	1,100		1,200
人員	101名	124名	105名	▲19名	140名	123名	160名
うち施工管理者	47名	55名	47名	▲8名	65名	55名	70名

2025/3期 計画概要

人にやさしい環境づくり

- 中期経営計画（24/3期～26/3期）は「基盤構築のための3カ年計画」であり、競争力の源泉である人財、技術、アライアンスに注力する方針に変わりない
- 前期は計画比減収であったが、受注環境は堅調であり、当初売上計画に変更なし
- 人財採用強化等の基盤構築を実施、人員計画は変更するも当初利益計画に変更なし

金額単位：百万円

	23/3期 実績	24/3期 実績	25/3期 計画	26/3期 計画
売上高	11,246	10,676	13,000	14,000
営業利益	1,560	1,608	1,600	1,700
経常利益	1,600	1,640	1,650	1,750
当期純利益	1,086	1,090	1,100	1,200
人員	101名	105名	123名	160名
うち施工管理者	47名	47名	55名	70名

<基本方針>

中期経営計画の最終年度売上高140億円達成に向け、更なる営業力の強化を図る

<主要施策>

1	都市再生案件の取り込み	再開発、商業施設、物流センター等の大規模な都市再生案件を中心に、元請工事案件の受注に注力し、受注拡大を図る
2	顧客基盤の充実	デベロッパー、ゼネコン及びエンドユーザー等の既存顧客基盤に加えて、新たな顧客を取り込むことで顧客基盤の更なる拡充を図る
3	地下関連工事の受注拡大	地上部解体に加えて地下解体関連工事（杭抜き、CD工法、BG工法、地中障害対応、流動化土打設、湧水対策等）の受注に注力し、受注拡大を図る
4	環境改善関連工事の受注	今後、増加が予想される石綿除去、土壌汚染対策工事等について、協力会社と連携して積極対応し、環境改善分野の需要取り込みを図る
5	情報管理と人材育成	CRMシステムを有効活用したフォロー体制により、顧客満足度を向上させ、リピート案件の増加を図るとともに、営業人材育成により営業力を強化する

< 主要施策 >

1	TANAKENブランドの価値向上	<ul style="list-style-type: none">・ TANAKEN株式会社への社名変更（株主総会承認を前提、2025年4月に変更）、採用パンフレット、採用サイトの新規作成等、ブランドPR策を実施・ 安心・安全施工をベースとしたTANAKENブランドの理解浸透と認知拡大により競争力強化、顧客満足度向上、人財確保強化を図る
2	人財採用強化	<ul style="list-style-type: none">・ 人事セクション増員、採用ブランディング実施、採用チャネル拡大により採用強化・ 施工管理者のみならず、全職種で即戦力、次世代社員の採用を強化
3	人財マネジメント体制強化	<ul style="list-style-type: none">・ 人事制度、評価制度、処遇を見直し、再構築を実施・ 入社時研修、安全教育、スキルアップ等の研修制度を拡充・ 週休二日制、現場サポート強化等により働き方改革を推進し、時間外労働削減を図る
4	施工管理体制強化	<ul style="list-style-type: none">・ 営業、計画、施工の連携強化により、大規模現場への対応力の増強を図る・ 協力会社とのパートナーシップ拡充、施工管理を中心としたアライアンス探索・ TANAKEN安全協力会による安全衛生指導・教育支援の強化
5	技術開発の強化	<ul style="list-style-type: none">・ 既存工法の更なる安全施工技術の開発、専門業者・専門家との協働による新工法の開発・ 現場ITサポートシステムのレベルアップ、BIM三次元モデルの更なる活用
6	DX強化	<ul style="list-style-type: none">・ 社内ネットワーク環境の改善及びセキュリティ強化を図る・ DX化による業務効率化、ペーパーレス化等により生産性向上を図る

配当方針

当社は、継続的な成長と株主の皆様への利益還元を経営の最重要目標として位置づけており、継続的な成長のための財務体質の強化と株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元とのバランスを勘案しつつ、株主の皆様への利益還元を充実していくことを基本方針としています。

24/3期 配当予定

- 上記方針に則り、1株当たり配当金を73円（予想）から80円に増額、配当性向30%以上の水準を確保

1株当たり配当金

80円00銭

1株当たり当期純利益

250円66銭

配当総額

347,956千円

配当性向

31.92%

本資料にある内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な重要要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりえることをご了承ください。

IRに関するお問い合わせ先

田中建設工業株式会社 管理本部

TEL : 03-6264-5520

*受付時間 : 9:00-17:00

(土日祝日及び当社休業日を除く)